

令和 3 年度新規事業の進捗状況について

1 TOGO まちかど運動教室

白鳥及び白土地区の健康たまり場で住民のニーズを聞き取った結果「身体を動かす教室があるとよい」というニーズが多かったことから、各コミュニティセンターで、事後教室として健康運動指導士による運動教室を実施しました。今後はシニアリーダー（地域の通いの場で運動を実施するボランティア）が講師として活躍していく予定です。

清水地区は、「サロンで運動の機会が欲しい」という要望に応え、サロンと共同で運動教室を実施しました。

地区	開催回数	参加者
白鳥	5 回（7/2、7/9、7/16、7/30、8/6）	18 名～24 名
白土	1 回（8/2）	26 名
清水	1 回（8/20）	20 名

※ 今後、北山台において教室の開催を予定

2 理学療法士による体操教室

令和 2 年度長寿健診又は介護予防教室で実施したフレイル質問票で 1 年以内に転倒歴があると回答した介護認定を受けられていない方に通知を送付し、参加者を募集しました。令和 3 年 10 月 6 日から月 2 回ずつ開催予定です。

3 オンデマンド型運動プログラム

インターネット環境があれば誰でもできる運動プログラムの配信を、令和 3 年 5 月から開始しました。介護保険証送付対象者に案内を同封し、視聴が可能になる ID やパスワードをお知らせしました。今後、LINE 配信で周知をする予定です。

4 CCNet を活用した介護予防講座の制作及び放映

4 月から毎日、朝と夕方の 2 回介護予防番組を放映しています。今年度、フレイル予防講話と運動からなる番組を 3 パターン作成し、既存の 3 パターンに追加し、6 種類の番組を 1 週間毎に変えて放映しています。

5 高齢者実態把握栄養パトロール事業

健康不明層等に健康アンケートを送付し、実態把握を目的として訪問にてアンケートを回収しました。実態把握の結果とアンケート集計を行い、低栄養又はフレイルのリスクがある者に対して、個別訪問で支援を行っています。問

題がなかった者に対して、結果を郵送しました。

日付	内容	方法
4月	健康不明層等に対しアンケートを送付	郵送
6月～7月	アンケートを回収	自宅訪問
8月	結果の送付	郵送・電話
8月～	希望者に対する栄養相談 重症者に対する個別訪問	来庁 自宅訪問

6 チームオレンジの養成

開催日	内容	場所	参加者
R3. 7. 14 (水)	認知症サポーター養成講座 講師： 近藤葉子氏（認知症当事者） 伊藤篤氏（認知症対応型通所介護管理者） ステップアップ講座 講師：山下律子氏（地域の応援団えがお）	役場	養成講座 39名 ステップアップ講座 29名
R3. 7. 29 (木)	西白土地区認知症サポーター養成講座及びステップアップ講座 講師： 深見さとみ（認知症地域支援推進員） 南部地域包括支援センター職員	西白土ふれあいセンター	養成講座 27名 ステップアップ講座 15名

7 認知症本人カフェ

デイサービスりんにおいて毎週水曜日午前中に実施

本人同士のピアサポートの場にするとともに、体験、困難、生きづらさ、自分なりの工夫について聞き取っている。聞き取った意見・要望を今後施策に反映します。